



総発行部数 50,000部
無料各戸配布数 46,000部
無料設置数 4,000部

¥0

マイタウン 伊都



巻頭特集

糸島から、宇宙へ

夢をカタチにする町工場

夏をクーポンで楽しもう! ◎グルメガイド

◎夏の贈り物・お中元

◎夏期講習&サマースクール

◎保存版/メディカルマップ

マイタウンWeb
リニューアルオープン!
クーポン・求人情報
多数掲載!





くくる巻いたコイル状のバネはおなじみですが、他にもこんないろいろな形があると! 文房具や「ホッピング」などのおもちゃ、家電製品や車など、適材適所で活躍。

と、北部九州を中心とする約20社の「町工場」だ。

QPS研究所の創業者の一人、八坂哲雄さんは九州大学名誉教授。立ち上げた目的は、退官後も大学で携わっていた小型衛星の研究をこの地で続けること、そして「九州に宇宙産業を根付かせること」だった。2005年の創業以来、九州内の地場企業を訪ね歩き、宇宙事業への協力を呼びかけてきた。必要なものをQPS研究所が一方的に発注するのではなく、ともにアイデアを出し合い、チームとなって取り組んでいく「ものづくり」。賛同する企業は次第に増え、着々と実績を重ねてきた。



「イザナギ」アンテナの製作中の様子。(提供: QPS研究所)

峰勝鋼機株式会社 一つひとつに 技術と誠意を込めて

バネが宇宙へ旅立った!

「これがバネ!」薄く平らな、1mmほどの細長い金属。持ってみると、しなやかな弾力がある。小型衛星「イザナギ」に使用したバネと同じ形状で、板バネというんですよ。そう教えてくれたのは、糸島市志摩松隈のバネ專業メーカー、「峰勝鋼機」の技術営業・東口公俊さん。

「イザナギ」は、24時間、昼夜間わずら



んな天候でも地球上を観測できる、小型の人工衛星。昨年12月に、インドの宇宙センターで打ち上げに成功した。開発したのは、福岡市中央区の宇宙開発ベンチャー企業「QPS研究所」



「イザナギ」に使われたバネと同じ種類の「板バネ」。用途に応じて素材や厚み、大きさ・形は多岐にわたります。身近なところでは電池ケースのバネもこの仲間。



宇宙へ送り出すバネ、

糸島の竹山良次さん(右)、技術営業の東口公俊さん。東口さんは文系出身で、「バネ製作は数式が必要なので、初めは苦勞しました(笑)」。

糸島から、 宇宙へ

夢をカタチにする町工場

自然豊かな糸島に、宇宙事業に部品を納入する会社があることを知っていますか? こだわりのものづくりを続ける人々と、その舞台裏を紹介します!



というかつてない難題にも、もちろん、イースと答えたのだ。

パラボラアンテナの「骨組み部分」が、峰勝鋼機のバネ。打ち上げ時は衛星に巻き付けるように収納し、宇宙空間でアンテナを展開する仕組み。(衛星イメージ/提供: QPS研究所)

両者は議論を重ね、小さく折り畳めるバネの種類や収納方法、宇宙空間の約200度にも達する温度差に耐える素材などを選定。峰勝鋼機では、これまで扱ったことのない、2mmもの大きな板バネと向き合う日々が始まった。薄く軽く、かつ十分な強度を保つバランスを求め、0.1mm単位で厚みの調整を繰り返していき、

最前線で担当した東口さんは、「薄くすればするほど、ひずみが出て波打ってしまう。変形との戦いでした」と振り返る。必要な数は24本。1本たりともミスは許されない…。重責を感じ

しながらも、情熱を注ぎ続ける挑戦は数年間に及んだ。

「イザナギが打ち上げに成功し、その後軌道に投入され、数日後に無事にアンテナが開いたと聞いたときは感無量で。安心して、体中の力が抜けていったのを覚えています」。そう話しているのは、3年前から社長を務める竹山良次さん。バネは、名脇役としての本領を見事に発揮したのだ。

ものづくりは、 人と人との関係づくり

峰勝鋼機は、注文に応じて最適な

バネを設計・製造する、フルオーダーメイドの会社。企業はもちろん個人の注文も可能な上、二本からでも受け付ける。創業から60年、一つひとつ違う要望にベストな形で応えようと奮闘し、コツコツと積み上げてきたものが、宇宙事業につながったのは間違いない。「仕事は極力断るな」「自ら考えて行動しよう」。社には、叩き上げて二代目社長となった林会長の教えが根付いている。実は、竹山社長は元銀行員。同郷だった顧客の林会長と親しくなり、人々のものづくりに対する誠実な姿勢を、心から信頼していたのだそう。「一緒に会社をやってくれない

か」と言われ、10年以上も待たせてしまったのですが(笑)」。第二の人生を歩む決意をした。「苦勞はありますが、みんなで協力し合って何とか乗り越えています。峰勝は良いお客様にも恵まれているんですよ」。

バネづくりの、やりがい、を、東口さんに尋ねた。バネは地味な存在だけれど、なくてはならないもの、「助かったよ」と言われることが、いちばんの喜びですね。相談を持ちかけられた時こそ、腕の見せどころだと思っています。ものづくりとは、人の思いを真摯に受け止めることから始まるのだろう。互いの思いが通じ合い、形となったものが、峰勝鋼機のバネなのだ。社員11名、小さな会社の大きな挑戦は、これからも続いていくに違いない。



1/倉庫内の「検査室」では、バネに最大10トンの力をかけて強度を検査します。
2/会長の林哲志さん。

DATA 株式会社QPS研究所

QPSとは「Q-Shu Pioneers of Space」=九州の宇宙開発のパイオニア集団、HPで事業内容や小型衛星、イザナギについて詳しく知ることができますよ。
☎ <https://i-qps.net/>



峰勝鋼機株式会社
創業は1959年の老舗。「バネのことなら何でもご相談ください」と竹山社長。倉庫には、北九州の工場から届いた皆さんのバネが! ここから全国各地へと出荷されています。玄関先の大きなコイルバネが目印。
☎ 092-327-4540
☎ 糸島市志摩松隈55-7
☎ <http://minekatsu.jp/>